

日本海水学会 70 周年記念 日本海水学会第 71 年会シンポジウム

主催：日本海水学会

共催：公益財団法人 ソルト・サイエンス研究財団

協賛（予定）：海洋プラスチック問題対応協議会、化学工学会、環境科学会、
環境資源工学会、高分子学会、資源・素材学会、石油学会、日本イオン交換学会、
日本海洋学会、日本化学会、日本金属学会、日本材料学会、日本微生物資源学会、
日本微生物生態学会、日本プラスチック工業連盟、日本水環境学会、
プラスチック循環利用協会、マリンバイオテクノロジー学会

日時：2020 年 6 月 4 日（木） 9：30～12：30

場所：東京都品川区総合区民会館 きゅりあん

特別講演「高分子合成を志して」

導電性高分子の開発でノーベル化学賞を受賞された白川博士にプラスチック開発に纏わる歴史的な背景から今日の状況に至るまでを概括頂きます。

9：30～10：20

筑波大学名誉教授 白川 英樹氏

記念シンポジウム「海水・海洋環境を取り巻くプラスチック問題とその解決を目指して」

海水・海洋の環境に深刻な影響を与えているプラスチック廃棄物は、その解決が急を要する地球規模の問題となっています。記念シンポジウムとして、3名の講師からこの問題に関わる調査・分析の現況および問題解決の1方策と目されている海洋生分解ポリマーの開発についてお話し頂きます。

10：20～11：00

「琵琶湖・大阪湾におけるマイクロプラスチック」

京都大学大学院地球環境学堂 田中 周平氏

11：10～11：40

「塩中のマイクロプラスチックの分析」

公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所 野田 寧氏

11：40～12：10

「海洋生分解性を有するカネカ生分解性ポリマー-PHBH の開発」

カネカ（株）新規事業開発部 福田 竜司氏

総括討論 12：10～12：30

最後に講演者4名にパネラーとなって頂き総括討論を行い、プラスチック問題を解決するために「私達は何ができるのか？」また「何をなすべきか？」を考える縁を得るためのシンポジウムにしたいと考えます。

参加費：無料

問合せ先：

シンポジウム実行委員長 上ノ山 周

E-mail kaminoyama-meguru-pb@ynu.ac.jp

〒256-0816 小田原市酒匂 4-13-20

TEL・FAX 0465-47-2439

E-mail office@swsj.org